

平成 21 年度

年間学習指導計画案

科目名

【宗教】

学年

【3 年】

単位数

【1】

教科書名

年間を通して使用する教科書はなし。

副教材

新入生の手引き、プリント教材

担当者

（梅谷・近藤）

金光藤蔭高等学校

教 務 部

学期	単 元	指 導 項 目	時間 配当	指 導 内 容	そ の 他
1	金光教祖の生涯	金光教祖の生涯	4	金光教祖 42 才の大患以降、46 才で農業をやめて取次に専念奉仕するまでの、生活や信仰態度の変化を通して、現代を生きる私たちにどのような問いかけをしているのか、また宗派にかかわらず、信仰を持つことの大切さについて、具体的事例を挙げながら解説。	中間調査終了後、各クラス作法室において、静坐による授業
2	宗教と人生	命の尊さを知る	1 2	人の命はかけがえのないものであり、自分の命が大切であると同時に、他人の命も自分同様大切にしなければならないということを、さまざまな時事問題や例話をあげ、プリント教材中心に学習する。 金光教のラジオ放送講話などを使用予定。 ・文化の違いを認め合う ・戦争の愚かさや平和の大切さについて ・環境問題 ・少子化、高齢化社会を迎えるにあたり ・阪神大震災の教訓 ・病気と信仰 ・生と性 ～命を大切に～	
3		信仰に生きる人々	5	幼少時、事故で両手片足を失った中山亀太郎氏（1905～2005）の 99 年の生涯を、ご本人が残された遺筆を通して、信仰を持って生きることの大切さを学ぶ。	
教科指導にあたり、特に留意する点					
・宗教の授業は、「宗派教育」ではなく、「宗教情操教育」つまり、心の教育であることをふまえ、生徒一人一人の「信教の自由」を尊重しつつ、「人を大切に、自分を大切に、物を大切に」することをテーマにかかげ、話を聞く姿勢を身につけさせる。 ・「金光教を教える」のではなく、「金光教で教える」ことをおさえておく。 ・各授業の開始の際、数分間「黙想」を実施し、自分を自分で見つめなおすけいこをさせる。 ・作法室での授業では特に静粛に心がけ、入退室の際の礼儀作法や、服装・姿勢にも留意する。 ・随時、時事話題にも触れ、現代社会と宗教とのかかわりについて着目させる。					